

## 疫学研究に関する情報公開について

疫学研究とは、人の病気の原因、病態の解明及び予防方法と治療方法の確立を目的とする研究です。

当院呼吸器内科では、患者さんの診療記録から得られた情報を利用して、下記の疫学研究を行っています。この疫学研究は、倉敷中央病院の倫理委員会の承諾を得て、研究責任者のもとで行われています。既に記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たなご負担はおかけ致しません。また、研究結果は学会や学術雑誌に発表される事がありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重され、個人情報（お名前など）が外部に公表されることはありません。

よって、この疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記ご連絡先までご連絡頂ければ、研究対象から除外させていただきます。なお、同意されない場合でも、診療上不利益を被ることはありません。

また、疫学研究に関して詳しい説明を希望される場合も、下記ご連絡先にお問い合わせいただきますようお願い致します。

### 《疫学研究内容》

- 研究課題名 「MRSA 肺炎診断・治療の実態調査」
- 研究期間 2011年10月（倫理委員会承認後）～2012年10月まで
- 対象者 16歳以上で抗MRSA薬を服用された入院患者さんの診療記録及び検出菌株
- 意義、目的、方法

実地臨床においてMRSA肺炎がどのように診断され、また治療に用いる抗MRSA薬がどのように選択されているのかに特化した調査は過去に実施されていないことから、MRSA肺炎の診断と治療の実態を明らかにするため、以下の方法により調査を実施致します。

- 1) 「成人院内肺炎診療ガイドライン」(日本呼吸器学会 2008年6月改定) に従った院内肺炎に関し、MRSA肺炎の診断根拠、MRSAの分離頻度、および使用された抗MRSA薬の妥当性等を評価致します。
- 2) 市中肺炎、医療ケア関連肺炎に関しても抗MRSA薬が使用された場合、その診断根拠、MRSAの分離頻度、および使用された抗MRSA薬の妥当性等を評価致します。

### 《本研究に関するご連絡先》

倉敷中央病院 呼吸器内科 研究責任者:伊藤明広

TEL 086-422-0210